



サンシャイン美濃白川

看護主査 田代 あずさん

あずさんは、サンシャイン設立当初から働かれている大ベテランの看護師さんです。現在は看護師のトップとして活躍しておられ、私は職種が違いますが憧れの存在です。

見た目は、童顔で小柄な女性ですが、ベテラン看護師さんたちの先頭に立ち、バリバリ働いている姿が輝いてみえます。一つひとつの仕事が丁寧で、尚且つスピーディです。入居者の状態は日々変化が著しく、少しの状態の変化も見逃すことができません。どんな事態が起きてても的確な判断をし、冷静に確実に対処される姿を見て尊敬しています。また、ケアワーカーである私のいろいろな質問やお願いにも迅速に返えてくださり、頼れる存在でもあります。

そんな雲の上の存在であるあずさんと私は同い年で、子どもも同学年という共通点



田代あずさん

佐藤美春さん

があり、それを知ってからは一歩踏み込んでプライベートの話もできるようになりました。家族の話がされている表情やしぐさがとてもチャーミングで癒されています。いつも楽しい話をしてくださり嬉しく思います。豪快な笑い方にも元気をもらっています。

入居者にも毎日明るく声をかけてバイタルチェックをされ、入居者も笑顔になられている姿を見て、私もあずさんのように接していかなきゃと自分を振り返っています。これからもあずさんからいろいろなことを吸収して、私自身の成長につなげていきたいと思っています。

サンシャイン美濃白川
ケアワーカー 佐藤 美春 記

※紹介された職員が次号で別の職員を紹介していきます。お楽しみに。

新しい仲間を紹介します

6月から、特定技能と技能実習生の新しい仲間が増えました。
毎日、明るく頑張っている彼女たちを紹介します。

特定技能の2人はカンボジア出身。年齢も生まれ育った町も違いますが、同じ部屋で暮らすようになって仲良くなり、ずっと前からの友人のようです。

食事を一緒に作って食べ、休みの日は一緒に自転車で出かけるほど。三川のゲンキーへ行った時は、正午に出発して買い物をし帰宅したのが16時頃だったとか。とってもえらかだったので、もう二度と自転車では行かない!と思ったそうです。

お互いの悩みを聞いたり、励まし合ったりできる良きパートナーです。

GHOUB CHANRA チャンラーさん



- ①サンシャイン 美濃白川
- ②以前は長崎県で農業の仕事をしていました。
介護の仕事を選んだのは、もっとたくさんの人と話がしたかったから。
野菜は話してくれないので(笑)
- ③自然が豊かでいい所。
- ④ゆっくり寝てから掃除や洗濯をして、自転車で買い物に行く。
- ⑤日本語の先生になりたい。

KROEM PHOS ポースさん



- ①サンシャイン 美濃白川
- ②以前は大分県のプラスチック工場で働き、休みの日は近くの日本語学校に通っていた。
コロナで仕事が無くなり、母国に帰ってから役につくと思って介護を選んだ。
- ③静かなところが好き。
もう少しお店があると便利。
- ④じっとしているより動いている方が好き。
でも、休みの日はゆっくり起きる。
- ⑤実家の近くに学校があるので、雑貨や日用品を扱うお店を開きたい。